

# 戸田市薬剤師会第4回定例理事会議事録

|     |          |
|-----|----------|
| 記録日 | H29.3.22 |
| 記録者 | 芹澤       |

|    |                             |     |                            |
|----|-----------------------------|-----|----------------------------|
| 日時 | 平成29年3月23日<br>19:30 ~ 21:00 | 出席者 | 染川、武長、野口、相良、伊藤、小澤、佐貫、成塚、芹澤 |
| 場所 | 戸田市文化会館 302 会議室             |     |                            |

## 議 題

1. 一般法人化のスケジュール
2. 会費見直しの件
3. 事業計画・予算案の件
4. 事業報告の件
5. その他

## 会議内容

議題に入る前に、各理事より委員会の報告あり。

●相良理事より、学術研修委員会の事業計画及び予算の案を示された。6月認知症について、11月過活動膀胱について、来年3月は小澤保健委員長と協力して診療報酬の改定関連の講習会を予定しているとの事。

●佐貫理事より、セルフメディケーション実習について企画、イオン北戸田店と交渉し、協力して頂ける旨の報告あり。1回当たり2人まで、火曜か金曜の午前もしくは午後3時間程度。項目ごとに説明して頂き、季節ごとの配置や実際の接客対応の見学など充実した内容となる見通し。費用等の詳細は今後委員会で取りまとめるとの事。

野口副会長より「全体としてもフォローしていくので、継続的に取り組んで頂きたい。」との要望あり。

小澤理事より「イオンに対しての支払いとなるのか？」との質問あり。イオン本体に対する支払いは手続きが煩雑で困難である、店舗レベルでの費用の発生しない形での実習になるとの事。

●野口副会長より、4月に在宅医療委員会の会合に出席するとの報告あり。委員の理解度を深める事、在宅の受け入れ薬局を増やすための方策、この2つが主なテーマとの事。

●小澤理事より、先程学術研修委員会のほうでも話題にのぼった来年3月の診療報酬改定について保険委員会として積極的に関わる旨の報告あり。

●成塚理事より、広報委員会としてHPのランニングコストの概算について説明あり。毎月の支払いは当然出てくるが、振込み手数料や手間を考え年間1括での支払いを考えているとの事。HP自体は検索で1ページ目に出てくるようになってきた。課題としては地域の方々へのメッセージなり活動の発信がまだ不十分である薬剤師や薬剤師会の絡むイベントがあれば積極的に載せていきたい、との事。

●芹澤理事より、会議運営委員会の事業計画及び予算の案について説明あり。前回の理事会で決めたように、年6回の定例理事会は弁当お茶はなし。全体会については染川会長からの助言もあ

り、『定期総会』と名称を改め、予算に関する総会を3月、決算報告の総会を6月に行う予定との事。課題は昼と夜どちらの時間帯で開催したほうが会員の利益となるか、飲食はありかなしか。

- 伊藤理事より、総務委員会では現在のところ集まってくるデータを確実に保存、処理している旨の報告あり。
- 武長副会長より、学校薬剤師が新体制になったことの報告と、来月薬剤師連盟の総会への出席についての報告あり。

次に、本日の議題1～4について野口副会長より説明。

#### 1. 一般社団法人化及び行政への補助金申請のスケジュールについて

- 4月中に定款を作成し、5月には設立の承認を頂くための臨時総会を開催する。
- 承認されれば5月下旬には『一般社団法人戸田市薬剤師会』が設立され、それ以降市と折衝して7～8月には平成30年度予算に組み込む補助金等申請をする。
- すべて申請から逆算していくとやらなければいけない事がおのずと決まってくる。

#### 2. 会費見直しの件

- 前回からの宿題であるが、法人化して部屋を借りて人を雇って、としていくと積算ベースでこれくらいかかってしまうという金額が、A会員；入会金30万、年会費6万 B会員；入会金無し、年会費6千円。これに対し各理事異論なし。少しずつ徐々に上げるより、「これだけ必要です！」と一気に上げたほうがシンプルで理解が得られやすい、との意見でまとまる。
- 一方、成塚理事他数名の方々より、「県薬・日薬の年会費が高い！一緒に徴収するので、払う側に立つと14万、初年度で言うと53万ほどになる。この金額は小さくない。」との声あり。どれだけ会員にメリットのある事業を展開していけるのかが今後の検討課題となる。

#### 3. 事業計画・予算案の件

- 次の定例理事会で各委員会の事業計画・予算の承認を行えるよう、各委員会で作成し会長に報告する。事業計画・予算案は行政機関に提出する計画書との整合性を図る必要がある。
- 個人の持ち出しが無いよう、目に見えにくい雑費も計上する事。

#### 4. 平成28年度事業報告の件

#### 5. その他

##### (1) 近隣地区の病院のファックス分業の件について

- 小澤理事より、病院のファックス送信手数料について当該地区の薬剤師会より請求された、との事例について報告あり。先方より薬剤師会間で同意しているとの主張であるが、実際確認できるものはない。しかもファックス来たからと言って100%その患者がくるとは限らないが、送信した枚数×150円で請求が来る。
- 相良理事より、以前は相良理事がとりまとめて払い、6年半前からは個別に払うようになり、現在は払っていないという経緯の説明があった。実際払っていない理事も多くいたが、ファックスは来なくなるとの事。
- 染川会長より、「日薬は10年以上前（H15年、16年あたり）に見直し、改善するよう求めている。ファックスの通信料は患者さんが払うのが正しい。」「厚生局のスタンスは、フリーアクセスであることが大前提。」とのことから、まず協定書が存在しているかどうかから確認する、と述べた。

(2) 学校薬剤師の会費重複の件

●染川会長より、県薬に確認し、「H25年に埼玉県薬剤師会と埼玉県の学校薬剤師会が統合され、当初2500円であったが、日薬に収めていた500円が中止され現在1校2000円を会費から徴収している」旨の報告あり。

(3) MandD 研究会

●染川会長より、整形外科の小林先生から医師と歯科医師の研究会の後援の依頼があったことを紹介。後援と会員への案内については受託したが、講演会は会場のキャパシティのもんだいもあり薬剤師の研修認定シールの配布については、今回は見送ることとなった。

決定事項

- 新会費案 A ; 入会金 300000円 年会費 60000円  
B ; 入会金 0円 年会費 6000円

検討事項

- 法人化設立総会の開催並びに法人化に伴う新事業の展開
- 新会費案の会員への説明と承認
- 各委員会の事業計画及び予算の承認
- 医師会との連携
- 行政との折衝
- HPの内容の充実
- セルフメディケーション実習の薬剤師会としてのフォローアップ体制